

脳神経回路の形成・動作と制御の現在と未来

日 時：2023年8月23日(水)・24日(木)

開催地：大阪大学蛋白質研究所1階講堂

8月23日(水)

13:00-13:10 開会挨拶

堀江 健生 (阪大・生命機能)

13:10-14:50 **セッション1** 座長：中村 渉 (長崎大・歯)
シグナル分子の活性化観察と操作によるシナプス可塑性機構の解明
精神疾患モデルにおけるシナプス強度と演算ルール
小鳥の発声内容のデコードと発声内容に応じた条件付け
軸索起始部における活動依存的な骨格制御機構

村越 秀治 (生理研)
林(高木) 朗子 (理研・CBS)
安部 健太郎 (東北大・生命)
久場 博司 (名大・医)

15:10-16:25 **セッション2** 座長：橋本 浩一 (広島大・医歯薬)
遺伝子発現の光制御手法を用いた神経幹細胞の制御メカニズムの解析
細胞外電位の変化を介した神経情報の伝達機構と神経活性調節機構
神経活動から探る海馬における情報表現

今吉 格 (京大・生命)
田中 暢明 (北大・理)
松尾 直毅 (九大・理)

16:45-18:00 **セッション3** 座長：堀江 健生 (大阪大・生命機能)
時計遺伝子 Period 1, 2, 3 欠損マウスの行動サーカディアンリズム機能解析
成長期の栄養履歴が後期ライフステージに与える機能低下のメカニズム
—神経細胞の役割—

中村 渉 (長崎大・歯)
上村 匡 (京大・生命)

8月24日(木)

9:00-10:15 **セッション4** 座長：竹林 浩秀 (新潟大・医)
ゴルジーリサイクリングエンドソーム接着と積荷タンパク質の選別輸送
神経発生における細胞膜マイクロドメイン局在分子の生理機能
1細胞解析に基づいた双極型神経細胞の移動、軸索形成機構の解析

佐藤 明子 (広大・統合生命)
川内 健史 (京大・医)
堀江 健生 (阪大・生命機能)

10:40-11:55 **セッション5** 座長：村越 秀治 (生理研)
ジストニン遺伝子変異による Dystonia musculorum マウスの運動障害発生に
関わる神経回路の同定
先天的恐怖臭が誘導する人工冬眠・生命保護状態
個体生理・細胞機能を調節する嗅覚受容体のポテンシャル

竹林 浩秀 (新潟大・医)
小早川 高 (関西医科大)
千原 崇裕 (広島大・理)

11:55-13:30 Lunch

13:30-14:45 **セッション6** 座長：田中 暢明 (北大・理)
中枢シナプス形成を司るマイクロエクソンの取捨選択調節
シナプス競合に基づく受容野形成のメカニズム
神経系のタイリング機構

吉田 知之 (富山大・医)
今井 猛 (九州大・医)
佐藤 純 (金沢大・新学術創成)

14:45-14:55 閉会挨拶

堀江 健生 (阪大・生命機能)

【世話人・連絡先】 堀江 健生 〒565-0871 吹田市山田丘1-2 大阪大学大学院生命機能研究科

E-mail: horie.takeo.fbs@osaka-u.ac.jp

URL: <http://www.protein.osaka-u.ac.jp/seminar/>

【主催】大阪大学蛋白質研究所

【後援】学術変革領域研究A「神経回路センサスに基づく適応機能の構築と遷移バイオメカニズム」

参加費無料、事前登録不要